ライカSシステム FAQ

最終更新日：2011年4月

項目一覧

1. Sシステム カメラ
2. Sシステム レンズ
3. サービスパッケージ

1. S システム カメラ

1.1　データ転送、データ保存 、ソフトウェア

1.1.1　使用できるメモリーカードの種類は何ですか。

64GB までの CF メモリーカードと SD/SDHC メモリーカードが使用できます。

1.1.2　推奨するメモリーカードのメーカーやスペックは何ですか。

サンディスク社の「Extreme」シリーズやレキサー社の「プロフェッショナル」シリーズを推奨します。特に、UDMA (Ultra Direct Memory Access) 対応のCFメモリーカードは転送速度が最大90MB/秒なので、大容量のデータを高速に記録したいときに便利です。また、UDMA対応のCFメモリーカードは読み込み/書き込み速度が速いため、本機のバッファメモリーが空く時間が短くなるメリットもあります。

1.1.3　それぞれの記録形式で画像を記録するとき、ファイルサイズはどれぐらいですか。

画像のファイルサイズは、被写体、すなわち構成要素や色調などの情報量によって変わってきます。各記録形式のファイルサイズは、未圧縮DNGで約75MB、圧縮DNGが約40MB、JPEG fineで約5～8MB、JPEG basicで約2～3MB です。

1.1.4　CF メモリーカードですべての容量を使用できません。

CFメモリーカードから画像データを「Adobe Photoshop Lightroom」に取り込み、CFメモリーカードから画像データを削除した後は、パソコンのごみ箱を空にしないと、CFメモリーカードに残余データが残ります。Macintoshに画像を取り込んだ場合は、CFメモリーカードにごみ箱が生成されます。CFメモリーカードをフォーマットすれば、すべての容量を使用できるようになります。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

1.1.5 「LEICA Image Shuttle」はどのようなソフトですか。

本機とUSB接続されたパソコンからカメラを操作し撮影するソフトです。例えば、パソコンのモニター上で主な項目を設定してシャッターを切ることができます。また、撮影した画像をUSB経由で直接パソコンのハードディスクに取り込めるので、パソコンのモニターで瞬時に画像の仕上がりを細かくチェックできます。お使いのパソコンのハードディスク容量が大きいほど、沢山の画像を保存することが出来ます。

1.1.6 なぜ付属ソフトが「Capture One」ではなく「Adobe Photoshop Lightroom」なのですか。

ライカは、高性能な画像処理ソフトフェアの分野で世界を代表する企業のひとつ、アドビ システムズ社と提携しました。同社が提供する「Adobe Photoshop Lightroom」は、デジタル画像処理に特化した総合的なソフトウェアです。デジタル画像の入力、編集、管理、出力に関して優れた機能を備えており、1枚の画像でも大量の画像でも、画像処理のワークフローをトータルにサポートします。「Adobe Photoshop Lightroom」は、純粋なRAWデータコンバーターである「Capture One」に比べ、RAWデータを現像する機能はもちろんのこと、画像処理、画像管理、プリプレスと印刷、スライドショーなど、きわめて多彩な機能を備えています。また、画像を部分的に補正する機能も搭載しています。「AdobePhotoshopLightroom」を活用することで、パソコンでの作業を減らし、撮影に多くの時間を費やせるようになります。

1.1.7 なぜパソコンへのデータ転送用のインターフェースに FireWire 800 ではなく USB2.0 が採用されているのですか。

インターフェースについては、機械的な性能やデータ転送性能の面での安定性の高さを考慮して規格を採用しました。FireWire 800は電源供給の点で不安定な影響を受けますが、USB2.0は高速できわめて安定したデータ転送が可能です。

1.2 [カメラ]メニュー関連

1.2.1 セルフタイマー撮影の設定方法を教えてください。

[カメラ]メニュー画面で[撮影モード]を選ぶと、サブメニュー画面で[単写]、[連写]、[セルフタイマー2秒]、[セルフタイマー12秒]が表示されます。セルフタイマーを使って撮影するときは、[セルフタイマー2秒]または[セルフタイマー12秒]を選びます。セルフタイマーと同時にミラーアップ撮影を設定すると、ミラーの振動によるブレを抑えることができます。

1.2.2 オートフォーカスの AFs と AFc の違いは何ですか。

本機では、AFs (シングル) とAFc (コンティニュアス) の2 種類からオートフォーカスのモードを選べます。AFsは、ピントが合うとシャッターを切ることができるフォーカス優先で、静止している被写体の撮影に適しています。AFcは、シャッターレリーズボタンを軽く押し続けるか半押ししている間はピントを合わせ続けるモードです。ピントの状態にかかわらずいつでもシャッターを切ることができるレリーズ優先で、動きのある被写体の撮影に適しています。
暗いシーンや、被写体に明暗差や輪郭や特徴的な構成要素がほとんどないときは、オートフォーカスではピント合わせが難しいため、マニュアルフォーカスでの撮影をおすすめします。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

1.2.3 フラッシュ撮影時に設定できるシャッター速度はどのくらいですか。

メインスイッチを「FPS」に設定したとき（フォーカルプレーンシャッターでの撮影）は1/125秒以下でフラッシュに同調します。
メインスイッチを「CS」に設定してレンズシャッター内蔵のレンズで撮影するとき（レンズシャッターでの撮影）は1/500秒以下でフラッシュに同調します。

1.2.4 ハイスピードシンクロ撮影はできますか。

レンズシャッターでのフラッシュ撮影では、シャッター速度を最速1/500秒まで設定できます。ライカSF58を使うと、フォーカルプレーンシャッターでのフラッシュ撮影でも、シャッター速度をフラッシュ同調速度の1/125秒以上、すなわち本機の最高速度の1/4000秒まで設定できる、ハイスピードシンクロ撮影を行うことができます。ハイスピードシンクロ機能は、日中シンクロ撮影の可能性を大きく広げるもので、明るいシーンでの魅力的なポートレート、絞りを開いてボケ味を活かした表現、動きのある被写体の一瞬を切り取った描写などが実現できます。ハイスピードシンクロ撮影についての詳細は、ライカSF58の取扱説明書の27ページをご覧ください。

1.2.5 推奨する外付けフラッシュユニットは何ですか。

ライカSF58を推奨します。ライカSF58は、本機の機能や仕様にマッチするように特別に作成されています。TTL調光モード、外部調光モード、マニュアル発光モードのすべてで最高の描写を実現できます。なお、SCA3002システム対応フラッシュユニット（SCA3502アダプターを併用）も本機に対応しています。

1.3 [画像]メニュー関連

1.3.1 なぜ最低 ISO 感度が「Pull 80」と表記されているのですか。

本機のセンサー（撮像素子）の基本感度はISO160です。シャッター速度を遅くしたり絞りを開いたりして特殊な効果を与えたい場合は、基本感度からさらに下げることにより、基本感度に設定したときと変わらない画質が得られます。ISO感度をさらに「pull down」する（引き下げる）という意味で「Pull 80」という表記を採用しています。

1.3.2 DNG 形式にはどのようなメリットがありますか。

本機では、画像データをDNG形式やJPEG形式で記録できます。DNG（デジタル・ネガティブ）はRAWファイル形式の標準フォーマットで、将来的にも確実にサポートされる形式です。JPEG形式やTIFF形式とは異なり、センサーが記録したデータを未加工のまま保存するのが特長です。DNG形式で記録した画像データは“潜像”のようなもので、ソフトウェアで画像情報を処理して最終的な画像に“現像”し、汎用的な形式に変換して保存します。現像する際に、ホワイトバランス、色調、階調、シャープネスなどのパラメータを調整できるので、最高画質に仕上げることができます。

1.3.3 モノクロ撮影はできますか。

画像の記録形式をJPEG形式に設定すれば、直接モノクロ撮影できます。撮影後にモノクロに変換する必要はありません。直接モノクロ撮影するには、[画像]メニュー画面で[彩度]を選び、サブメニュー画面で[白黒]を選んで撮影します。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

画像の記録形式をDNG形式に設定した場合は、直接モノクロ撮影できませんが、撮影後にモノクロ画像に変換できます。本機はカラーセンサーを搭載しており、DNG形式ではデータを加工せずそのまま保存するため、撮影後に「Adobe Photoshop Lightroom」などでモノクロ画像に現像できます。

1.4 [セットアップ]メニュー関連

1.4.1 カスタム設定モードはどのような機能ですか。

カスタム設定モードは、特定のメニュー項目をメニューボタンに割り当てることができる機能です。割り当てたボタンを押すだけでメニュー項目を直接呼び出せるので、素早く設定を変更できます。カスタム設定モードを設定するには、[セットアップ]メニュー画面で[カスタム設定モード]を選び、サブメニュー画面でメニュー項目を割り当てるボタンを選んでから、割り当てるメニュー項目を選びます。割り当てることができるメニュー項目は、ISO、ファイルフォーマット、ホワイトバランス、色空間、ユーザプロファイル、フォーマット、キーロック、撮影モード、フォーカスモード、測光モード、露出補正、オートブラケット、シャッター速度制限、フラッシュ同調モード、ミラーアップモードです。[カメラ]メニューと[画像]メニューに含まれるほとんどのメニュー項目を割り当てることができます。

1.4.2 LCD モニターについてはどのような設定が変更できますか。

LCDモニターについては、明るさとバックライトについて設定を変更できます。設定は[セットアップ]メニュー画面で[モニター/ディスプレイ]を選んで行います。サブメニュー画面の[バックライト]で[自動]を選ぶと、バックライトの明るさが周囲の光量に合わせて自動調整されます。

1.5 その他の機能・設定

1.5.1 十分に充電したバッテリーでどのくらい撮影できますか。

Sシステムは、消費電力効率を最大限に高められるように設計されています。満充電したバッテリーでの撮影可能枚数は1000枚以上です（CIPA規格による）。

1.5.2 ファインダーの視度調整範囲はどのくらいですか。

本機のファインダーの標準視度は1ディオプターです。眼鏡をかけたままでもファインダーが見やすくなるように、視度調整ダイヤルで3～+1ディオプターの範囲で調整できます。

1.5.3 なぜ LCD モニターのカバーガラスとしてサファイアガラスが標準装備されていないのですか。サファイアガラスにアップグレードできますか。

3.0型のLCDモニター用にサファイアガラスを製造するには、非常にコストがかかります。本機の開発段階では、対象となる用途・分野に対して可能な限りリーズナブルな価格の製品を提供することが目標でした。そのため、サファイアガラスはS2-Pモデルにのみ採用することにしました。現時点では、サファイアガラスへのアップグレードサービスを提供する予定はありません。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

1.5.4 センサー (撮像素子) を設計・開発したメーカーはどこですか。

ライカとコダックISSの共同事業により、センサーを設計・開発しました。コダックISSは、高い実績と信頼性を誇る長年のパートナーです。コダックISSは、センサーの製造も担当しています。

1.5.5 なぜオートフォーカスの測距点が 1 点しかないのですか。

オートフォーカスの開発で最優先したのは、測距システムの精度を最大限に高めることでした。中判フォーマットのデジタルカメラでこれを実現できるのは、現在でも1点のセントラルクロスセンサー以外にはありません。

1.5.6 交換式ファインダースクリーンは用意されていますか。

標準装備のユニバーサルスクリーンの代わりにユーザー自身が交換できるファインダースクリーンをご用意しています。緻密に構図を決められる方眼付きの「グリッドスクリーン」と、マニュアルフォーカスでの撮影に最適な「マイクロプリズムスクリーン (発売予定)」があります。

1.5.7 付属品は何ですか。

アイピースカバー、ボディキャップ、充電式リチウムイオンバッテリー、バッテリーチャージャー、USB接続ケーブル、キャリングストラップ、「Adobe Photoshop Lightroom 2」と「Leica Image Shuttle」を無償ダウンロードできるライセンスを付属しています。

1.5.8 どのくらいの頻度でライカ カスタマーサービスに点検を依頼すればよいですか。

長く安心してお使いいただくために、2年に1度、またはシャッター使用回数が10万回に達したら、ライカカスタマーサービスまで点検サービスを依頼されることをおすすめします。

1.6 お手入れ

1.6.1 センサー (撮像素子) はどのようにクリーニングしたらよいですか。

本機のセンサーは大型なので、非常に慎重に取り扱う必要があります。そのため、ライカ カスタマーサービスを通じて熟練の専門スタッフにクリーニングを依頼されることをおすすめします。また、市販のクリーニングキットを使ってご自身でクリーニングすることもできます。なお、ご自身によるクリーニングで生じたセンサーの破損は保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

2. S システム レンズ

2.1 レンズ関連全般

2.1.1 メインスイッチを CS にした場合 (レンズシャッターでの撮影) に設定できるシャッター速度の範囲はどのくらいですか。

レンズが内蔵したシャッターで撮影する場合は、1/500〜8 秒の範囲で設定できます。

2.1.2 レンズシャッターの耐久性はどのくらいですか。

10 万回の耐久性を備えています。

2.1.3 どのくらいの頻度でライカ カスタマーサービスに点検を依頼すればよいですか。

長く安心してお使いいただくために、2年に1度、またはシャッター使用回数が10万回に達したら、ライカカスタマーサービスまで点検サービスを依頼されることをおすすめします。

2.1.4 シャッター内蔵でない S レンズをシャッター内蔵にアップグレードできますか。

シャッター内蔵でないSレンズをシャッター内蔵にするには多大な時間と労力が必要となり、コストがかかりすぎるため、アップグレードはできません。

2.2 その他

2.2.1 S レンズ用のフィルターを販売する予定はありますか。

Sレンズでは、機種により市販のE82またはE72のフィルターを使用できます。すでにさまざまな種類のフィルターが数多く市販されているため、専用のフィルターを販売する予定はありません。伝統的なメーカーの高品質なフィルターをお使いください。

3 サービスパッケージ

3.1. サービスパッケージはどこで購入できますか。

ライカSシステム認定特約店でのみ購入できます (世界各国の認定特約店は、ライカのホームページで検索できます) 。サービスパッケージを購入されると、購入された認定特約店がライカのホームページを通じて購入の登録を行います。登録が完了すると、購入された認定特約店が購入証明書をお渡しします。購入証明書は、利用規約に基づいてサービスパッケージのサービスを利用できることを証明するものです。購入者の情報は、ライカカメラ本社のデータベースに登録され、どの認定特約店でもライカの「Sシステムディーラーサイト」を通じて確認することができます。ライカカスタマーサービスからサービスパッケージを購入することはできません。

3.2. サービスパッケージの対象地域はどこですか。

通常1年のメーカー保証の延長をはじめとするサービスパッケージのサービスはすべて、購入された国にかかわらず、全世界で受けることができます。ただし、プラチナサービスパッケージが提供する修理期間中の代替機の無償貸し出しサービスは、輸入や関税に関する法律の規定により、北アメリカ、中央アメリカ、インドでは受けることができません。

3.3. サービスパッケージのサービスを受けるときはどこに連絡したらよいですか。

購入されたSシステム認定特約店または最寄の認定特約店までお申し出ください。世界各国の認定特約店は、ライカのホームページで検索できます。

3.4. 製品のみを購入した後でもサービスパッケージを購入することはできますか。

サービスパッケージ対象製品のみを購入した後でもサービスパッケージを購入できます。ただし、サービス提供期間は、サービスパッケージ対象製品の購入日からの計算となります。また、サービスパッケージ対象製品の購入を証明するもの (必要事項が記入された保証書とレシートのコピー) が必要となります。なお、利用規約に基づき、合理的な理由によりサービスパッケージ購入は不適切であると判断した場合は申し込みをお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

3.5. プレミアムサービスパッケージからプラチナサービスパッケージにアップグレードできますか。

いつでもアップグレードできます。ただし、アップグレードしてもサービス提供期間は延長されません。サービス提供期間は、サービスパッケージ対象製品の購入日からの計算となります。

3.6. 複数の製品やセット販売の製品を 1 つのサービスパッケージの対象にすることはできますか。

サービスパッケージは、製品を対象としたサービスです。サービスパッケージのサービスは、サービスパッケージ1つにつき対象となるカメラ1台またはレンズ1本にのみ適用されます。新たに製品を購入した場合にサービスパッケージのサービスを受けるには、その製品を対象としてサービスパッケージも新たに購入する必要があります。セット販売の場合も、製品1つにつきサービスパッケージを1つ購入する必要があります。

3.7. すでにサービスパッケージの対象となっている製品を譲渡された場合でも、サービスパッケージのサービスを受けることはできますか。

サービスパッケージは、製品を対象としたサービスで、製品の所有者を対象としたサービスではありません。したがって、すでにサービスパッケージの対象となっている製品を第三者から譲渡された場合でも、サービスパッケージのサービスを受けることができます。なお、製品を譲渡された後にサービスパッケージを解除して返金を受けることはできません。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com

3.8. サービスパッケージのサービスの一環として製品を交換した場合は、サービスパッケージの購入証明書はどうなりますか。

交換した製品のシリアルナンバーが記載されたサービスパッケージの購入証明書をお渡しします。サービスパッケージのサービス提供期間は、交換前の製品の購入日からの計算となります。

3.9. サービスパッケージで 2 年間に延長される保証期間をさらに延長することはできますか。

現時点では、購入日から1年間となっている通常の保証期間は、サービスパッケージにより2年間にしか延長できません。

3.10. なぜプラチナサービスパッケージが提供する修理期間中の代替機の無償貸し出しサービスは、北アメリカ、中央アメリカ、インドでは提供されないのですか。

修理期間中の代替機の無償貸し出しサービスでは、通常翌営業日に代替機をお届けします。しかし、お届けが遅れることが予想されることや、代替機の送付先となる国の輸入や関税に関する法律によって制約が生じることから、北アメリカ、中央アメリカ、インドではこのサービスを提供していません。

3.11. 修理費用の 30%割引サービスは何回受けることができますか。

サービス提供期間内の初回の修理にのみ適用されます。同一製品で再度修理を依頼される場合は、通常の修理料金が適用されます。修理費用の30%割引サービスの対象となるのは、機能に支障がある故障です。また、過失（落下、衝撃、水濡れ）による故障など、通常のメーカー保証では保証対象外となる故障も対象となります。外装部品の交換は対象外となります。修理はソルムスのライカカメラ本社またはSシステム正規修理センターで行います。

3.12. プラチナサービスパッケージが提供する無償点検サービスは何回受けることができますか。

サービス提供期間内の初回の点検にのみ適用されます。無償点検サービスでは、ソルムスのライカカメラ本社の試験基準に基づいて、製品のクリーニング（センサーを含む）と全機能の点検・調整を行います。また、不具合が確認された場合は、パーツの修理・交換も行います。

3.13. サービスパッケージの購入証明書を紛失した場合はどうすればよいですか。

購入された製品とサービスパッケージのデータ（購入日、シリアルナンバー）はすべて、ライカカメラ本社のデータベースに登録されており、どのSシステム認定特約店でもライカの「Sシステムディーラーサイト」を通じて確認することができます。サービスパッケージの購入証明書を紛失した場合は、最寄のSシステム認定特約店までご連絡ください。サービスパッケージを購入されていることが確認され次第、認定特約店が購入証明書を再発行します。

Leica Camera AG / Oskar Barnack Strasse 11 / 35606 Solms / Germany / Phone +49-6442-2080 / Fax +49-6442-208-333 / www.leica-camera.com